

<課題名>

「当院の外来血液透析患者の災害に対する意識調査」

<研究対象者>

2026 年 1 月 28 日 29 日に透析患者への災害についての講義を実施した後に、「透析患者の災害に対する意識調査のアンケート」に回答された患者

<研究協力のお願ひ>

災害時に透析患者が安全に治療を継続できる体制を整えることを目的として、患者の防災意識および災害時の行動準備状況を把握するためのアンケート調査を実施いたしました。本調査で得られた結果は、災害時の透析診療体制の強化、患者教育内容の改善、ならびに支援が必要な患者の把握に資する重要な知見であると考えております。つきましては、これらの結果を研究成果として発表させていただきたく、ご了解を賜りたく存じます。

研究目的や研究方法は以下の通りです。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。研究成果は、滋賀腎・透析研究会で発表を予定していますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

(1) 研究の概要について

看護研究の課題名：「当院の外来血液透析患者の災害に対する意識調査」

研究期間：倫理委員会承認日～2026 年 12 月 31 日

研究機関・実施責任者：公立甲賀病院 人工透析部 氏名：井上 由美

(2) 研究の意義、目的について

本研究では、外来透析患者における防災意識や備えの実態を明らかにすることを目的とし、これにより、災害における透析患者が自助行動できるために、透析患者の安全確保と透析維持支援に向けた効果的な看護介入への示唆を得ると考える。

(3) 研究方法について

2026 年 1 月 28 日 29 日に透析患者への災害についての講義を実施した後に、「透析患者の災害に対する意識調査のアンケート」に回答された患者さんを対象とします。いただいた研究結果を解析します。アンケート項目は、透析患者の災害時における行動特性および準備状況を把握するため、以下の内容で構成した。対象者の基本属性として 年齢、性別、家族構成、被災経験の有無、移動方法 を尋ねた。また、防災に関する意識と行動を評価するために、災害への備え、避難方法、防災グッズの準備状況を確認した。さらに、災害時に透析治療を継続するために必要な知識や行動を把握する目的で、災害時の透析時の対処方法に関する理解度を調査した

た。加えて、医療機関が災害時に適切な支援を行うための情報として、自己の透析情報（DW、穿刺部位、薬剤アレルギーなど）の把握状況についても質問項目に含めています。

(4) 予測される結果（利益・不利益）について

参加いただいた場合の利益、不利益はありません。

(5) 個人情報の取扱いについて

利用する情報からは、お名前、住所など、直接同定できる個人情報はアンケート内容には含まれていません。

(6) 研究の成果の公表について

この看護研究成果は 2026 年の滋賀腎・透析研究会で発表を予定しています。その際、個人を特定する情報は公表しません。

(7) 研究計画書の入手または閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(8) 利用または提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される資料・情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。また、研究対象者が未成年者または死亡されているときにはその代理人の問い合わせに応じます。停止を求められる場合には、下記（9）にご連絡ください。

(9) 問い合わせ等の連絡先

公立甲賀病院 人工透析部 氏名：井上 由美
〒528-0074 滋賀県甲賀市水口町松尾 1256
☎0748 (62) 0234 FAX 0748 (63) 6486